

✿興東館柳生中学校区



郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

▶興東館柳生中学校区 地域教育協議会

地域・子ども の現状	本校区は広大な校区で、少子高齢化の煽りを受ける校区である。人との関りも少なく、固定化された人間関係の中ではあるが、郷土を愛し自分たちの考え方や取組を発信できる子ども達に育てていくためにも、小中学校園や地域との協働が大切である。
伸ばしたい子ど もの具体的な力	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、主体的、意欲的に取り組む力を育む ・思いやりをもち、互いに支えあう強い心と体を育む
取組内容	<p>①校区の自然に触れ、地域の方々とふれ合うことを通して豊かな心を育てる。 ②校区の歴史、伝統や文化を学ぶとともに地域に誇りを持ち、郷土を愛する心を育てる。 ③人とのつながりや体験学習を通してコミュニケーション能力と自主的に行動する力を養う。</p>



▶興東館柳生中学校 運営委員会

学校園・子ど もの現状	広大な校区で少子高齢化が進む中で、人との関りも少ない。しかし豊かな自然の中で地域人材を活かした様々な体験学習に取り組んでいる。故郷を愛し自ら発信する能力を高めるため少人数を活かした学習活動に日々取り組んでいる。
伸ばしたい 子どもの 具体的な力	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間を認め支え合い、何事にも真剣に取り組み、自ら学び考え行動する力。 ・郷土に誇りを持ち、夢を持って生きていく力
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資産や外部人材を活用し、地域の自然や伝統文化などの本物に触れる体験を通じ、持続可能な社会活動について考えさせる。 ・地域人材を活かした多彩な体験学習に取り組み、学年を超えた全校体制で協働することを通して、自主性や発表力を養う。



▶柳生小学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	<ul style="list-style-type: none"> 長い歴史と伝統を誇る柳生地区にある小学校として、「どの子も地域の宝、宝を磨く」を合言葉に、将来の柳生を支える人材を育てられるよう取組を進めている。 活動の中で少人数ならではの課題もあるが、子どもたちは自然豊かな地域で健やかに成長している。
伸ばしたい子どもの具体的な力	<ul style="list-style-type: none"> 柳生地域の良さを知り、歴史や伝統を自信をもって伝えようとする力を育む。 日頃の挨拶や体験を通して、周りとつながり思いやりや自分の意見をもち、支え合う心を育む。
取組内容	<p>①地域のゲストティーチャーを活用し、いろいろな体験活動を通して柳生の良さや特色を知り、柳生を愛する心を育てる。 ②学校で花や緑を育てる体験や校内環境整備等を通して豊かな心を育む。</p> 

▶興東小学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	本校校区は、水と緑豊かな自然環境の中、地元の児童の教育や学校にかける思いは大きい。また、学校への協力を惜しまない人的環境に恵まれた地域でもある。このような豊かな教育環境を最大限に活かし、様々な人とのふれあいや多様な体験を重視した学習の実践を展開している。児童は自分自身にそして地域に誇りを持ち、視野を大きく広げ、多くの人やものから学ぶこと、そして仲間とともに高め合い、様々な場面でその成果を発揮できる力をつけてきた。
伸ばしたい子どもの具体的な力	自主的に行動し、自分の意見を持ち、伝えたいことを周りに伝える子どもを育成し、思いやりのある心をもって相手の考えにも耳を傾けることができる力を育む。
取組内容	総合的な学習の一環として、総合「なら」科や生活科の学習の中で、地域の人を積極的に活用し、地域の歴史や自然、文化、産業、さらに人々の暮らしや願い、知恵を、多くの体験を通して、地域の方々から学ばせる。

▶柳生こども園 運営委員会

学校園・子どもの現状	過疎化、少子高齢化が進み、園児は広範囲から車で通園している。三世代同居の家族もあり、情緒豊かに育てられている様子が伺える。家庭に帰れば、園児も保護者も友達との関わりが少ない為、こども園は地域の教育センター的役割を担っている。保護者や地域の方の幼児教育への関心は高く、地域の教育力を保育に活かす取り組みや交流会、園での様々な活動に対して協力的である。
伸ばしたい子どもの具体的な力	身近な環境に主体的に関わり、意欲や関心をもって考えたり、判断したりしながら友達と粘り強く取り組む力。 地域の伝統にふれ親しみ、園内外の行事に楽しんで参加し、様々な人と関わりを深める。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然や地域の人との関わりを通して、心身の成長を育む。 ・地域の伝統文化や地場産業に触れ親しむ機会をもつ。 ・園内外の行事に積極的に参加して多くの方々と交流を持ち、触れ親しみ経験を重ねていく。 